

奉賛趣意書

令和4年 10 月吉日
菅生神社 宮司 児玉隆司

謹啓 時下 愈々御清祥の段お慶び申し上げます。

陳者、平素より菅生神社のことにつきましては、格別の御高配を賜っておりますこと厚く御礼申し上げます。

扱て菅生神社の御垣内に鎮座します開運稲荷大明神は松平清康公が岡崎城ご入場のおり、(1523年)菅生神社に参籠されし時にご神託を享けられ、岡崎城内に菅生稲荷大明神のご分霊を移し祀られました。

けれども、天正19年岡崎城代田中兵部大輔吉政公が城地を拡張のため神殿を取り壊されたので、菅生神社の本殿にお迎えしました。

400年の後昭和57年11月菅生神社境内に社が建てられ、今年で40年目を迎えます。

この佳年にあたり、過去を未来に伝え紡ぐ奉祝記念事業として、御参拝の皆様が心地よくお過ごし頂ける為の境内整備を執り行います。

お社前の朱鳥居は、40年近く多くの参拝者をお迎えしてきましたが、長年雨風に晒され傷みが激しく早急の対応を余儀なくされる状態となりました。

つきましてはこれを機会に建て替えることに致しました。

この度の奉賛のお願いに何卒御理解頂き、何分の御奉賛を賜りますれば幸甚に存じ上げ、この儀、切にお願い申し上げます次第でございます。

謹白

記念事業概要

開運稲荷大明神鳥居修築 総額 600万円

一、奉賛金 1口 1万円

一、記念品といたしまして、特別御朱印帳に特別御朱印をお書きしてお渡しいたします。

1 口・・・特別記念御朱印帳

2 口・・・特別記念見開きサイズ御朱印帳

3 口・・・特別記念御朱印帳 + 特別記念見開きサイズ御朱印帳

一、御奉賛者の皆様には、御神前にて御芳名を奉告申し上げ開運延寿の御祈願を御奉仕致します。

一、後日ご芳名を境内に掲示いたします。